

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム

- 4.5
- 2 トピックス 公民館の当面する課題
- 3 視点 企画委員から得た私の宝物
- 3 ひろば ゲートボールが結ぶ世代間の絆
- 6 実践記録シリーズ 燕市子ども体験活動支援センターでの実践
- 7 サークル交流 生命の貯蓄体操 (小千谷市) / 夢の始まり (湯沢町)
- 7 素顔拝見 三宅 恵子さん (胎内市) / 中山 晴剛さん (朝日村)



「どんど焼」津南町公民館

本年1月14日に行われた小正月行事です。

表紙解説

三箇 (さんが) 地区公民館主催の、「どんど焼」、会場は三箇小学校グラウンドで、約100人ほど集まりました。

公民館の当面する課題

副会長（長岡市中央公民館長） 大関 重雄



19年振りの豪雪から一転し、今年はや暖冬の穏やかな日々をお過ごしのことと思います。

昨年、長岡市は二度の合併を経て、守門岳から日本海まで広がる人口28万3千人、面積841平方キロメートルの新・長岡市が誕生し、4月1日には、市制施行百周年を迎え新たなスタートを切りました。

さて、社会教育や公民館を取り巻く情勢は、職員や予算の削減、指定管理者制度の導入による民間委託の推進や、平成の市町村大合併等により、行政の仕組みや中身が大

きく変わってきています。

昭和21年に文部次官通牒「公民館の設置運営について」

が出されて以来60年が経過しました。この間いくつかの転換期を迎えながらも、その都度進化と発展を遂げつつ、地域の活性化と人づくりに貢献してきました。

今日の日本社会は、少子高齢化の進展、地域間や個人間の格差拡大、家庭と地域の教育力の低下など深刻な状況が生まれております。

このような時代にあつて、「地域づくり・人づくり」の拠点として公民館の果たす役割は、ますます重要になってきています。

長岡市の現状であります。平成16年にそれまで31地区にあつた公民館が「公民館」「児童館」「福祉センター」を

三本柱としたコミュニティセンターとして統合し、管理を一本化しました。

また、合併を機に長岡市中央公民館の他に地区公民館が9館、分館が74館になり、状況が大きく変化しました。

合併した地区公民館が、旧長岡市のようにコミュニティセンターに移行するかどうかについては、各地域のコミュニティには長い伝統と歴史に培われたものがあり、すべての地域が一律の統一した制度に合わせるのではなく、これまで住民が築きあげてきた地域のコミュニティを、時間をかけて検討する必要があると思っております。

この問題は、他の市町村でも見受けられるようですが、行政主導の公民館から住民主導の公民館活動への展開が、

今後当面の課題となっていくことでしょう。

また「指定管理者制度」の導入については、一部で開始したようですが、果たして公民館がその制度に馴染むのかといった問題もあり、これも今後の検討課題と思っております。

さらに、当市では、平成18年度から公民館運営審議会と社会教育委員会の組織が兼務となり、この委員会の中でも、合併市町村の公民館の現状と課題や、公民館運営審議会廃止による影響について討議を重ねているところです。

かつては、地域交流及び生涯学習の場として長年親しまれてきた公民館ですが、いずれにしても、ここ数年で公民館が大きく変わろうとしています。

どのように変わっても、公民館活動を通じた地域づくりの拠点として、公民館は地域のよりどころであつてほしいと願っております。

BOOKS INFORMATION

公民館における災害対策ハンドブック

避難所のよりよい運営のために (定価) 1,000円 (B5判150ページ)

社全国公民館連合会刊 TEL03-3501-9666 (発注は直接全公連へ)

公民館月報 (個人購読大歓迎) 定価1部150円 年極 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

企画委員から得た私の宝物

アルザにいがた企画委員 本間 順子



私が公民館の企画委員をさせていただくことになったのは、ある子育てについての公民館の講座を受講したことがきっかけでした。結婚前の会社勤めの生活から、子育て中心の生活に変わった時期、私は楽しいながらも社会から取り残されたように感じていました。公民館の講座は、その孤独感や無力感にエンパワーメントしていった充実感、安心できる仲間との出会いを与えてくれました。そのうちに私自身が、他の人も大切にしたいという思いから、企画委員をさせていただくことになりました。

公民館のほかにアルザにいがた(新潟市男女共同参加推進センター)にも関わっていますが、心の温かい職員の方々のおかげで、とにかく楽しく有意義に活動しています。昨年、アルザで担当した講座も昨年の秋に、無事好評のうちに終了しました。参加者にとつて、講座室内はいつも安心できる場となっていたようです。

企画委員を通して、私自身が公民館から多くを学び、充電させていただきました。このような場を、今後も多く提供していただけたらと思います。

H O T N E W S

掲 示 板

県公連臨時理事会開催

平成19年1月18日(木)
於新潟市生涯学習センター セミナール室

◇開会あいさつ 三保会長 14:40~

◇協議

1 報告事項

- (1)平成19年度社会教育団体補助金(新潟県)
- (2)第2回自主財源確立のための調査検討委員会の報告 大関委員長

2 審議事項

- (1)平成18年度収入支出状況(12月末締切)について
- (2)平成19年度県公連市町村負担金について
- (3)平成19年度社会教育団体補助金について
- (4)第58回新潟県公民館大会(村上大会)について
- (5)自主財源確立のための具体的な手立てについて

①収入面で協賛広告の取得促進

②支出面で諸経費の節減

- (6)新潟市の政令指定都市移行に伴う役員人事について
- (7)当面の問題(新潟県公民館振興市町村長連盟の今後のあり方)について
- (8)その他

3 連絡事項

平成18年度 第4回理事会・評議員会の日程について

2月20日(火)に開催

◇開会あいさつ 土田副会長 16:30

ゲートボールが結ぶ世代間の絆

ひろば

粟島浦村社会教育委員 本保 司

島は冬になると観光も漁業も一段落する。しかし代わりに活発になるのがゲートボールだ。普通はお年寄りのスポーツというイメージがあるが島では老若男女みな熱中する。そんな中、開催されるのが「お年寄と子ども」のゲートボール大会だ。全部で28名の小中学生と島の大半のお年寄が参加する。

「高齢化」というと、なんとなく負のイメージを感じる人が多いのではないかと。確かに若い人が少なくなるのは問題だが、お年寄ばかりが不幸というわけではない。現に島のお年寄は農業、漁業、子どもとの交流事業や様々な行事のボラ



ンティア等で大活躍している。孤独死も無ければ悲惨な事件も無い。地域の絆が生きている証拠だ。我々粟島の社会教育委員の使命は、この輝きをいつまでも保つことではないだろうか。

今から年度末にかけて来年度の事業計画を立てることになるが、お年寄には多くのご助力をお願いすることになるが、きっと快く引き受けてくれるだろう。

をはぐくむ運動フォーラム

子育てサポーター～

- NPO推進ネット顧問 広岡守穂氏
- ・研究協議会テーマ
「あの子どもこの子ども地域の家族」(実践発表2団体)
山北町青少年健全育成町民会議
特定非営利活動法人ヒューマン・エイド22
(にいつ子育て支援センター育ちの森)
指導助言 県少年自然の家所長 板垣和伸氏
※村上市岩船郡生涯学習振興大会と共催



下越地域フォーラム・研究協議会

(4) 佐渡地域フォーラム

- テーマ「みんなではぐくもう佐渡のたから」
- 日時：平成18年11月19日(日) 13:00～16:00
- 会場：アミューズメント佐渡参加者：700名
- ・基調講演「子どもの力と地域の教育力」
講師：茨城大学助教授 長谷川幸介氏
同大講師 外岡 仁氏
- ・事例発表(3団体)
羽茂地区家庭教育学級
地域子ども教室「後山小ふれあい活動」
両津地区住吉育成会
指導助言 新潟大学大学院助教授 雲尾 周氏
- ・ポスターセッション8地区の活動紹介



佐渡地域フォーラム・事例発表

3 フォーラムの成果

家庭教育支援や子どもの居場所づくり等に造詣の深い講師による講演や地域の実践活動の紹介に

より、参加者は新たな気づきや発見があったのはいうまでもありません。参加者から「学校との連携にもっと工夫が必要ではないのか」「主催者が楽しむことが大切だ」「早速自分の地域に広めたい」などの発言があり、活発な意見交換が展開されました。細かな反省点は多々ありましたが、ねらいの一つであるネットワーク化が進んだといえます。

地域別の開催とはいえ、参集範囲が広く、すべての市町村からの参加が得られなかったことと、地域での取り組みに差があることも事実であり、地域全体をどのように巻き込んでいくかという難しい課題も残りました。しかし、家庭教育支援や子どもの健全育成に向けて精力的に取り組んでいる団体が一堂に会し交流を図れたことは、大変な意義があったと考えています。

4 これから

子どもたちが心豊かに成長し、社会人として自立して生きていくという真の成果が現れてくるのは10年後、20年後という息の長い話です。このフォーラムが終わりではなく、きっかけとなり、地域の皆さん一人ひとりが、子どもたちの健やかな成長に関心を持ち、家庭、地域、学校がそれぞれの役割と責任を担い、地域に根付いた活動を連携・協力し合って実施されることを願っています。公民館の活動においても、コーディネーター役として、親を含めた地域の大人や、子どもたちにかかわって支援する活動の充実が望まれます。

最後になりましたが、フォーラム運営に関して多大なるご協力をいただいた青少年育成団体、子育て支援団体、地域の家庭教育推進協議会、地域子ども教室実行委員会並びに市町村教育委員会の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

追記：「もっと詳細を知りたい！」という方は、広報紙「はぐくみネットワーク」第4号(平成19年2月発行)と事例集「はぐくみネットワーク」第2集(平成19年3月発行予定)でも報告しますので、そちらをご覧ください。

問い合わせ先：新潟県教育庁生涯学習推進課
電話025-280-5617
ファクシミリ025-284-9396

特集

社会全体で子ども

～一人ひとりが地域の

新潟県地域家庭教育推進協議会事務局
(新潟県教育庁生涯学習推進課)

1 はじめに

「一人ひとりが地域の子育てサポーター」をキャッチフレーズに、新潟県地域家庭教育推進協議会が母体となり推進している「社会全体で子どもをはぐくむ運動」は、平成18年度で3年目となりました。

社会全体で子どもをはぐくむ運動推進プランに基づき、平成18年10月から地域ぐるみで子どもをはぐくむ環境づくりをテーマに、県内4地域で開催した「社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム」について報告いたします。

2 フォーラムの概要

フォーラムは初めての開催でしたが、新潟県は広く、全県で1回だと一過性のイベントに終わってしまう心配もあり、上・中・下越・佐渡の地域別に開催することとしました。

手探り状態の中、地域の実情に応じたフォーラムの成功に向けて、新潟県地域家庭教育推進協議会ワーキングチーム、事務局(当課、県教育庁上・中・下越教育事務所、佐渡出張所、県立生涯学習推進センター)、地域レベルの協議会、関係市町村教育委員会が準備を重ねてきました。

(1) 上越地域フォーラム

日時：平成18年12月9日(土) 9:30～16:00

会場：上越市市民プラザ 参加者数：250名

- ・ポスター展示 26団体(うち活動紹介12団体)
- ・研究協議会
 - 子育てに関する協議会(事例発表3団体)
 - 特定非営利活動法人マミーズ・ネット
 - 特定非営利活動法人緑とくらしの学校
 - 特定非営利活動法人あにまるネットワークポニーズ
 - 社会教育事業に関する協議会
- 事例発表 3市支部社会教育主事会
- ・親子、子ども対象イベント(楽しい工作、絵手紙づくり、カップスタック、読み聞かせ、スポーツチャンバラ)

また、同日、上越市と特定非営利活動法人マミー

ズ・ネット主催「子育てわいわいフォーラム2006」も行われ、「子どもも私も大切に」という演題で恵泉女学園大学大学院教授の大日向雅美氏の講演会がありました。



上越地域フォーラム・開会セレモニー

(2) 中越地域フォーラム

テーマ「つなごう地域の力」

日時：平成18年10月29日(日) 10:00～16:00

会場：魚沼市中央公民館 参加者：220名

- ・基調講演「地域におけるネットワークづくりの手法」
講師：秋津コミュニティ顧問 岸 裕司氏
- ・ポスターセッション4団体
- ・研究協議
実践発表 特定非営利活動法人
野外教育学修センター魚沼伝習館
指導・助言 伊米ヶ崎小学校長 本間秀宜氏
- ・子ども広場(そば打ち体験、読み聞かせ、地域対抗ニュースポーツ大会)



中越地域フォーラム・ポスターセッション

(3) 下越地域フォーラム

日時：平成18年12月3日(日) 10:00～16:00

会場：村上市民ふれあいセンター 参加者：200名

- ・ポスターセッション 16団体
- ・基調講演「ささえよう子育て 見つめよう子育て」
講師：中央大学法学部教授

実践記録 107 シリーズ

燕市子ども体験活動支援センターでの実践

燕市教育委員会社会教育課 青少年家庭教育係長 南波 進栄知

1 はじめに

燕市では、平成14年度から実施された完全学校週5日制に対応するために、平成15年度より学校内外を通じた奉仕活動・体験活動推進事業の委託を受け、地域の教育力を活性化し奉仕活動、体験活動の充実を総合的に推進するため、燕市子ども体験活動支援センターを設立し、委託事業終了後においてもセンター事業を継続し4年目になります。

2 事業の概要

(1) 目的

地域社会における人間関係の希薄化が進む中で、子どもたちの豊かな成長に欠かせない、多くの人や社会、自然などと直接ふれあう機会が乏しくなっている状況を踏まえ、様々な遊びや体験活動を通して社会性や豊かな人間性を育み、異年齢交流、世代間交流を推進する。

(2) 活動の内容（平成18年度）

①子どもたちの奉仕活動・体験活動の機会や活動場所の開拓

- ア 小学生対象の体験活動プログラム
 - ・一般ボランティアの協力を得て、体験活動の場を設ける。

○風の子くらぶ6（4月22日から9月2日 全8回）

回	実施日	タイトル	内容	会場
第1回	4月22日	開会式	レクリエーションゲーム	中央公民館
第2回	5月13日	アウトドアクッキング	ピザ作り	大曲河川公園
第3回	5月28日	魚釣り大会	魚釣り	大曲河川公園
第4回	6月10、11日	チャレンジキャンプ	キャンプ	チャレンジランド杉川（五泉市）
第5回	7月8日	鉱石・化石発掘に出掛けよう！	鉱石、化石発掘	間瀬海岸
第6回	8月12日	ナイトウォークに挑戦！	夜間市内周辺散策	市内周辺
第7回	8月26日	川遊び、燕楽水辺の巻	カヌー体験	大曲河川公園、中之口川
第8回	9月2日	また会おう会	アルバム作り	中央公民館

○風の子くらぶ7（11月18日から3月11日 全6回）

回	実施	タイトル	内容	会場
第1回	11月18日	開会式、ワイルドキッチン	ピザ作り	大曲河川公園
第2回	12月3日	クリスマスリース教室	クリスマスリース作り	中央公民館
第3回	1月20日	キッズ、キッチン	本格料理体験	勤労青少年ホーム
第4回	2月4日	ウィンタースポーツを楽しむ！	ソリ、スキー他	大曲河川公園
第5回	2月24日	小さな旅	市外小旅行	市外研修施設
第6回	3月11日	また会おう会	春パーティー	中央公民館

イ 小・中学生の親子対象体験活動プログラム

- ・親子の対話の機会を増やし、絆を深めるため、親子と一緒に体験活動できる場を設ける。

○みんなてトライ5（6月22日から7月27日 全3回）

回	実施日	タイトル	内容	会場
第1回	6月22日	パン粘土クラフト教室	ミニチュアパン作り	勤労青少年ホーム
第2回	7月6日	親子でガーデニング	ガーデニング教室	中央公民館
第3回	7月27日	親子で、すし作り	寿司にぎり教室	勤労青少年ホーム

②情報収集

- ・教育関係機関のみではなく、他の団体の活動に積極的に参加することにより、世代を超えて地域の人とふれあい、活動機会や指導者など、いろいろな情報を得る。

③学校や町内子供会などにおける各種活動のサポート

- ・学校や町内子供会など、活動内容の照会、講師の派遣などの相談業務に対し、企画の提案や助言、講師を紹介する。



6月10、11日チャレンジキャンプ

3 事業の成果、今後の課題

(1) 児童の健全育成

いろいろな体験活動を行うことにより、たくさんの情報を得ることができ、活動の幅が広がるとともに、社会性や人間性豊かな子どもたちの育成に役立っている。

(2) 相談事業の活性化

いままでの支援センターの活動実績や、学校への広報活動や風の子くらぶ参加者の口コミにより、学校、地域子供会から相談を受けるようになった。

(3) 一般ボランティアの確保

現状では、口コミでスタッフ参加をお願いしているために、ボランティアの登録者が少ない。また、登録していても諸事情などで参加できないことがある。

4 おわりに

センター設立当初より職員とコーディネーターの2人で運営しておりますが、一般ボランティアや保護者のご協力を得ながら活動を行っています。

一般ボランティア、保護者の皆さんからご理解、ご協力をいただき大変感謝しています。

子どもたちが、いろいろな活動を通じてさまざまな人とふれあい、経験することにより、やさしさや思いやりを身につけ、人間性豊かな、いじめのない社会をつくっていくために、微力ではありますが楽しい事業を企画し、より充実したものにしていきたいと思っております。

生命の貯蓄体操

健康体操サークル

生命の貯蓄体操健康体操は、昭和55年に市の社会体育課の指導でほぼ全町内で始められたが次第に先細りになり、小千谷東地域が統合して一つとなったのが当会である。その統合に伴い公民館活動の一つとなった。

現在、その公民館の広間を会場に週2回練習に励んでいる。内容は要の操法・五導術・組操法の3種類で、腹式呼吸を使った健康増進目的の生涯体操である。会員は20数名で



大半が中高年の女性である。年数回のお茶会も楽しみみの一つで、話が尽きない。会員が高齢化しているので、天候が悪い時は出席者が極端に少なくなる。従って会員の若返りと、男性会員の増加が緊急の課題でもある。

小千谷市・健康体操サークル
本野本宏志 記



夢の始まり

絵画サークル絵夢

私達は、昨年4月に長い間続けて来た公民館講座から、サークル活動に移行しました。

一年目で何が出来るか心配しながらも、5月中旬から11



月中旬まで、毎週金曜日、昼の部、夜の部を交互に制作に取り組みました。

年間の行事として、春の新年会に始まり、キリン山温泉スケッチ旅行、第一回作品展(夢の始まり) 9月15日から10月14日まで、秋には美術館見学、写生会、町民文化祭への出品、冬の忘年会と「あー」と言う間の半年間でした。

これからも、「継続は力なり」をモットーに、仲よく、楽しく、個性を大切に、技術の向上と心の豊かさ求めながら、会員の親睦を深めて行きたいと思えます。

湯沢町サークル絵夢
代表 林 信行 記

胎内市には、社会教育施設として図書館を含め4つの施設があります。その中のひとつ「乙総合福祉センター」で、日々地域の人々のためがんばっているのが彼女、三宅恵子さんです。乙地区の高齢者大学「水ばしょ大学」や一般市民を対象としたレストラン講座、囲碁将棋大会など持ち前の明るさで参加者の心をつかみ、楽しませます。時には、気



胎内市中央公民館
生涯学習課 社会教育係
主任 三宅 恵子さん

持ちいいくらい物忘れしたりもしますが、それもまた愛嬌です。公民館の職員ですが、いろいろな事業に自分の担当以外でも気分よく協力してくれ、持ち前の明るさで参加者や職員みんなの気持ちをひとつにしてくれる頼もしい「アネサン」。今後も公民館のオアシスとして、大いに利用者や職員に笑いを提供してください。

(胎内市中央公民館 主任 三浦裕明 記)

朝日村を誰よりも愛し、村のためならたとえ火の中水の中へと飛びこんでいく勢いのある晴剛さんは、外見の鋭さとは逆に思いやりのある頼れる男性です。歳のわりに古くさいダジャレばかり言って皆を笑わせますが、それは照れの裏返し!? 実は人の弱さも強さも知っている、時に黙って適切なアドバイスをしてくれる見貴的存在です。



朝日村教育委員会
主任 中山 晴剛さん

仕事に対してもそんな長所が全面に出ています。行事など主催者側の立前が前に出そうな場面も、自分がどう思われるかではなく、参加される方々がどう思うかを一番に考えられる人なので、晴剛さんが手掛ける行事は全て大盛況に終わります。そんな晴剛さんは今日も“大須戸訛り”で鼻息荒く、村民のために走り回っています。

(朝日村 社会教育指導員 相馬幸恵 記)

素顔 拝見

文芸むらかみ



昨年11月、県北の地より「文芸むらかみ」第27号、「文芸さんぼく」第22号が送付されて参りました。

文芸さんぼく



内容は、随筆第一部、短歌、俳句、随筆第二部、川柳、詩等から構成されております。

恵贈資料紹介

文芸むらかみ編集委員会 山北町教育委員会

今回も「文芸むらかみ」では、平成18年度村上市中学生短歌作品展示会入選作品及び「十五夜月見の会」小学生俳句入選作品が掲載されているのが特徴的です。
また「文芸さんぼく」では、かつて山北町に勤務経験のある教職員OBの方のお名前があり、大変なつかしく感じました。

Network

第2回自主財源確立のための調査検討委員会開催

平成19年1月18日(木)
於・新潟市生涯学習センター セミナール室
13時10分～14時20分

- 1 開会あいさつ 三保会長・大関委員長
- 2 報告・協議
 - (1) 平成18年度収入支出状況について
 - (2) 平成19年度県公連市町村負担金について
 - (3) 平成19年度社会教育団体補助金(新潟県)について
 - (4) 自主財源確立のための具体的な手立てについて
 - ①収入面で 協賛広告の取得促進
公民館月報自主購読の促進
 - ②支出面で 諸経費の節減
 - ③その他
- 3 閉会あいさつ 山岸副委員長

新潟県社会教育団体懇話会事務局長会開催

- 1 日時 平成19年1月26日(金) 午後2時から4時まで
- 2 会場 県立生涯学習推進センター(大研修室)
〒950-8602 新潟市女池南3-1-2
TEL: 025-284-6110 FAX: 025-284-6019
- 3 来賓 新潟県教育庁生涯学習推進課 本間副参事様
新潟県立生涯学習推進センター 小島次長様
- 4 内容
 - (1) 情報並びに意見交換
“事務局長会資料”に基づいて協議
 - (2) 県生涯学習推進課並びに県立生涯学習推進センターからの情報提供
・平成19年度の重点事業等の見直しについて
 - (3) その他

event information

平成19年3月の催物ご案内

ぶんぶん白マ (サイエンスボランティアによる工作教室)
(内容): ひもをひっぱると、ブーンと音をたてて回るぶんぶんコマをつくります
日 時: 3月4日(日) ①13:00～ ②14:00～
③15:00～

申込等: 各回先着24名(当日先着)
会 場: サイエンスラボラトリー

ロボットサイエンス教室
(内容): レゴマインドストーム(簡単なロボット製作キット)を使ってロボットの仕組みを学びます
日 時: 3月17日(土) 10:00～15:00
申込等: 電話等による申込み12名(先着)
会 場: サイエンスラボラトリー



レゴマインドストーム(製作例)

◆料金

項 目	小・中学生	大人
入館料	100円	550円
入館料+プラネトリウム観覧料	200円	750円

3月の休館日は、5日(月)、12日(月)、19日(月)、20日(火)、26日(月)です。
※毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)の定休日のほかに、設備点検整備等のための休館日があります。

県立自然科学館 電話 (025) 283-3331 FAX (025) 283-3336

雲の早見表を作って、雲の名前を覚えよう!
(サイエンスボランティアによる実演教室)
(内容): 気象庁で分類している十種類の雲の写真と、解説の書いてある台紙に貼って、雲の分類表を作ります
日 時: 3月21日(水・祝) ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

申込等: 各回先着24名(当日先着)
会 場: サイエンスラボラトリー

からくりの世界
(内容): 茶運び人形・段取り人形などのからくり人形の実演をします
日 時: 3月25日(日) ①13:00～ ②15:00～



段取り人形

申込等: 各回先着40名(当日先着)
会 場: エントランスホール
●幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
●プラネトリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
●20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

あ と が き
今年は一変して暖冬・少雪となり、いろいろ予期しない事態が生じておるようです。
新潟市の政令指定都市移行に伴い、県公連の組織・事業にも影響が出つつあります。
19年度、何とか良い方向に向け、良い態勢づくりに努めねば、と思っております。
(鈴木 記)